

「令和4年度病害虫発生予報第4号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、いもち病の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、ねぎのアザミウマ類の発生が、北海道及び南関東の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、南関東、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稲の斑点米カメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（6月30日付け）では、気温は北・東・西日本で高く、沖縄・奄美で平年並か高いと予想されています。また、降水量は東・西日本で平年並か少なく、沖縄・奄美で平年並か多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	イネミズゾウムシ	北陸	南関東、甲信、南九州
	ツマグロヨコバイ		南関東、北陸、南九州
	斑点米カメムシ類	中国	北海道、東北、甲信、北陸、東海、近畿、四国、北九州
	いもち病	南九州	北東北、関東、北陸、近畿
	縞葉枯病（ヒメトビウンカ）		南関東、甲信、南九州
	紋枯病		北陸、中国、四国

注）表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**いもち病**の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されており、熊本県、宮崎県及び鹿児島県から注意報が発表されています。今後、断続的な降雨がある場合には急激に発生するおそれがあります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、中国の一部の地域で多くなると予想されており、山口県から注意報が発表されています。本虫類は、水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。このため、水田周辺雑草の除草は本虫類の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫類の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

・**イネミズゾウムシ**の発生が、北陸の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場を注意深く観察し、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、発生状況に応じて防除を実施してください。

・**トビイロウンカ**について、一部の地域で本年も平年より早い時期からの本虫の誘殺が確認されています。今後の気象条件の推移によっては、一昨年同様に発生が拡大することが懸念されます。

トビイロウンカの防除は、発生状況に応じた適期・適切な防除が重要となるため、都道府県の発表する発生予察情報をこまめに確認することで、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類		近畿、四国、北九州
	ハダニ類	南関東、北九州	北関東、南九州
	うどんこ病		南東北、近畿、九州
	炭そ病	北関東	四国、北九州
きゅうり	アザミウマ類	四国	南東北、南関東、甲信、北陸、近畿
	アブラムシ類		南東北、南関東、北陸、中国
	コナジラミ類	四国	南東北、南関東
	べと病		北東北、南関東、近畿
すいか	アブラムシ類	南関東、近畿	北陸
たまねぎ	アザミウマ類	北海道	甲信
なす	アザミウマ類	南関東、四国	近畿
	ハダニ類	南関東	甲信、近畿
ねぎ	アザミウマ類	北海道、南関東	北東北、甲信、北陸、近畿、四国、北九州
	さび病	関東	東海
アブラナ科全般	コナガ		北海道、北東北、甲信、北陸、中国
きく	アザミウマ類	北東北、近畿	南東北、北陸
	アブラムシ類		東北、北陸、東海、近畿
作物共通	オオタバコガ	中国、南九州	北東北、南関東、甲信、北陸、四国
	シロイチモジヨトウ	四国	北陸
	ハスモンヨトウ	北陸、四国	北関東

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

・アザミウマ類の発生が、北海道及び南関東の一部の地域で多くなると予想されており、北海道から注意報が発表されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ 作物共通

・**オオタバコガ**の発生が、中国及び南九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県から注意報が発表されています。植物体内に食入してからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・**ハスモンヨトウ**の発生が、北陸及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

■ いちご

・**ハダニ類**の発生が、南関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ きゅうり

・**アザミウマ類**は、四国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ なす

・**アザミウマ類**の発生が、南関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

すいか

・**アブラムシ類**の発生が、南関東及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

きく

・**アザミウマ類**は、北東北及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	ハダニ類	東海、近畿、中国	四国、九州
	かいよう病	北九州	南関東
	そうか病	南九州	東海
なし	シンクイムシ類	北関東	南関東、北九州
	ハダニ類	北九州	南関東、北陸、近畿、南九州
	黒星病	北陸、南九州	関東、近畿
ぶどう	べと病		南関東、近畿、中国
りんご	ハダニ類	北東北	北海道、南東北、北陸
果樹全般	果樹カメムシ類	南関東、東海、近畿、中国、四国	北東北、北関東、甲信、近畿、九州
茶	チャノホソガ	東海	九州
	ハダニ類	近畿	北九州
	ハマキムシ類	南関東、東海、北九州	近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

■ 果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、南関東、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、滋賀県、京都府、鳥取県、岡山県、山口県及び高知県から注意報が発表されています。本虫類は、もも、なし及びかんきつ等の果実を吸汁加害します。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、夏期の薄暮時に餌を求めて園地に移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では次世代の発生量が多くなるので、特に注意が必要です。本虫類の飛来状況は地域や園地によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

■ なし

・**ハダニ類**の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。園内を注意深く観察し、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**黒星病**の発生が、北陸及び南九州の一部の地域で多くなると予想されており、新潟県からは注意報が発表されています。昨年の発生量が多かった地域では、伝染源が多くなっていると予想されることから、特に注意が必要です。対策に当たっては、伝染源となるり病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。

また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

■ かんきつ

・**ハダニ類**の発生が、東海、近畿及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。園内を注意深く観察し、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ りんご

・**ハダニ類**の発生が、北東北の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。園内を注意深く観察し、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

茶

・ハマキムシ類の発生が、南関東、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫類は、地域で発生する種類や発生時期の違いにより、薬剤の効果が異なることが知られています。また、幼虫が葉をつづり合わせてからでは薬剤がかかりにくくなるため、ふ化期～若齢幼虫期を対象とした薬剤散布が効果的です。都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適切な薬剤を選定し、地域の予察灯やフェロモントラップによる前世代成虫の誘殺最盛日の7日後程度を目安に防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年6月8日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月9日	高知県	果樹全般	果樹カメムシ類
6月15日	宮崎県	水稻	いもち病(葉いもち、穂いもち)
6月15日	鹿児島県	さつまいも	サツマイモ基腐病
6月17日	熊本県	水稻	いもち病(葉いもち、穂いもち)
6月20日	北海道	たまねぎ、ねぎ、あぶらな科野菜、アスパラガス	ネギアザミウマ
6月20日	鹿児島県	水稻	いもち病(穂いもち)
6月21日	新潟県	なし	ナシ黒星病
6月24日	和歌山県	すもも、もも、うめ	クビアカツヤカミキリ
6月27日	鳥取県	果樹全般	果樹カメムシ類
6月29日	北海道	てんさい	テンサイ褐斑病
7月1日	岡山県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月1日	京都府	果樹全般	果樹カメムシ類
7月4日	山口県	野菜・花き類	オオタバコガ
7月4日	山口県	水稻	斑点米カメムシ類
7月4日	山口県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月4日	滋賀県	果樹全般	果樹カメムシ類

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月10日	京都府	びわ	ビワキジラミ
6月13日	和歌山県	-	トマトキバガ
6月14日	岡山県	なす	クロテンコナカイガラムシ
6月14日	岡山県	ねぎ	ネギえそ条斑病 (IYSV)
6月17日	愛知県	センリョウ	カシルリオトシブミ
6月23日	兵庫県	さつまいも	サツマイモ基腐病
6月27日	岡山県	りんどう	トマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV)
7月1日	島根県	ピーマン	ピーマンえそ斑紋病 (INSV)

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量 (程度))

多い (高い) : やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い (やや高い) : 平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並 : 平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない (やや低い) : 平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない (低い) : やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第5号:7月20日(水曜日)

第6号:8月10日(水曜日)

第7号:9月7日(水曜日)

第8号:10月12日(水曜日)

第9号:11月9日(水曜日)

第10号:令和5年3月8日(水曜日)

(参考)これまでの発表

第1号:4月13日(水曜日)

第2号:5月11日(水曜日)

第3号:6月8日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382